

はじまっています 景観によるまちづくり



薩摩川内市の景観は、本市の魅力と風格を決定付ける重要な要素であり、これまで培われてきた独自の文化の集大成でもあります。また、ここに暮らす私たちにとって、先人たちが守ってきたふるさとへの愛着と誇りを身近に感じることが出来る貴重な市民共通の財産です。

本市の景観計画の基本方針は「地域力が守り 高めるふるさと景観の創造」です。そこで、本市の景観の素晴らしさをいま一度見直し、その魅力を発見し、より多くの方に知っていただくことを目的として、平成21年6月から本年4月までの約1年間、「薩摩川内市景観100選」を募集しました。多くの皆さまから133件の応募をいただき、薩摩川内市景観審議会での厳正な審査の結果、景観100選が決定しました。

今回、決定した景観100選を市ホームページで公開するとともに、「景観100選マップ」も作成しました。皆さんもマップ片手に、これらの景観を訪ねてみませんか。きっと本市の景観の素晴らしさを再認識することが出来ます。



上甕地区コミュニティ協議会
会長 石原昭憲さん
(景観審議会委員)

私の好きな 薩摩川内市の景観

紺べきの海、山野に咲き乱れるカノコユリ、清流あふれる川内川の風景、我が薩摩川内市の景観は、雄大な自然と悠久の歴史、文化に包まれた中にあり、その一つ一つに出会う時、私の心は安ど感でいっぱいになります。

「皆さん、私たちのふるさとの景観の素晴らしさにお気づきですか？」

私が出会った薩摩川内市の素晴らしい景観は、自然、歴史、文化によりつくり出されたもので、山、川、陸、海に点在しています。それぞれの地域の特色があり、生活の一部にもなっています。この素晴らしい景観は先人からの贈り物として脈々と継承されてきたもので、私たちの宝であり財産です。

これからもこの財産を活用して、ふるさと薩摩川内市のまち

づくりに資するとともに、これを後世に継承するように守り、つくり、高めていくための意識を持ち続けたいと思います。



上空からの望む市街地



鹿児島大学工学部
准教授 木方十根さん
(景観審議会委員)

薩摩川内市の 景観についての思い

合併によって、薩摩川内市はとても広い自治体になりました。そこには県下随一の大河川内川の流れや東シナ海に浮かぶ甕島の島々など、雄大な自然の見ど

「景観100選」において、代表的とされる本市の景観



ころがいっぱいです。しかし、私が魅力を感じているのはむしろ、ごく普通の集落の景観、家々と田畑、そして山や海が一体となった景観です。集落の景観をかたちづくるこれら一つ一つの要素は、本来すべて自然の中での人々の暮らしが生み出したもので、強く結びついたものです。特に山、川、海と多様な地形が特徴の薩摩川内市では、住む場所や働く場所は、長い年月の間に、自然との関わりの中から巧みに選ばれてきたものです。

こうした集落の景観、代々の暮らしの証を次世代に伝えることはできないものでしょうか。幸い薩摩川内市では地区コミュニティ協議会制度という、地域に根ざした活動の母体があります。今後も地区コミュニティ協議会を中心に活動され、人々がごく普通の風景に誇りがもてるような、そんなところであってほしいと思います。

景観整備機構による

「まちあるきウォッチングin神亀山」を実施しました。

鹿児島県造園建設業協会と鹿児島県建築士会(景観整備機構)が、市内の児童を対象にした「まちあるきウォッチング」を8月19日(木)に開催しました。これは、子どもたちに市内の景観について理解してもら

うために企画したもので、当日は神亀山にある樹木の話、新田神社・可愛山稜の歴史などについて説明を受け、参加した児童には「ジュニア景観マスター」認定証が手渡されました。



【問合せ】=本庁都市計画課 ☎(23)5111(内線3423)

information

ふるさと景観100選マップを発行しました。

皆さまからご応募いただいた作品を一枚のマップにしました。右記の場所に備え付けてありますので、ご活用ください。
※部数に限りがありますので、品切れの際はご了承ください。

- 本庁1階シティセールス推進課
- 各支所市民生活課
- 川内駅観光案内所 ほか